

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和3年4月22日(2021.4.22)

【公開番号】特開2020-120383(P2020-120383A)

【公開日】令和2年8月6日(2020.8.6)

【年通号数】公開・登録公報2020-031

【出願番号】特願2020-48757(P2020-48757)

【国際特許分類】

H 04 N 5/378 (2011.01)

H 04 N 5/369 (2011.01)

【F I】

H 04 N 5/378

H 04 N 5/369

【手続補正書】

【提出日】令和3年3月11日(2021.3.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1方向に設けられ、光を光電変換して電荷を生成する第1光電変換部と第2光電変換部と、

前記第1方向と交差する第2方向に配線され、前記第1光電変換部で生成された電荷に基づく信号が出力される第1信号線と、

前記第2方向に配線され、前記第2光電変換部で生成された電荷に基づく信号が出力される第2信号線と、

前記第1信号線に出力された信号と前記第2信号線に出力された信号との少なくとも1方を処理する第1処理部と第2処理部と、

前記第1信号線と前記第2処理部との接続 / 非接続とを切替可能な第1切替部と、

前記第2信号線と前記第2処理部との接続 / 非接続とを切替可能な第2切替部と、  
を備える撮像素子。

【請求項2】

請求項1に記載の撮像素子において、

前記第1信号線と前記第1処理部との接続 / 非接続とを切替可能な第3切替部と、

前記第2信号線と前記第1処理部との接続 / 非接続とを切替可能な第4切替部と、  
を備える撮像素子。

【請求項3】

請求項2に記載の撮像素子において、

前記第1信号線に出力された信号を前記第1処理部と前記第2処理部とで処理する第1制御と、  
前記第1信号線に出力された信号を前記第1処理部で処理し、前記第2信号線に出力された信号を前記第2処理部で処理する第2制御とを行う制御部を備える撮像素子。

【請求項4】

請求項3に記載の撮像素子において、

前記制御部は、前記第1制御において、前記第1信号線と前記第2処理部とを前記第1切替部により接続させ、前記第2信号線と前記第2処理部とを前記第2切替部により非接続とし、前記第2制御において、前記第1信号線と前記第2処理部とを前記第1切替部に

より非接続とし、前記第2信号線と前記第2処理部とを前記第2切替部により接続させる  
撮像素子。

**【請求項5】**

請求項3または4に記載の撮像素子において、

前記制御部は、前記第1制御において、前記第1信号線と前記第1処理部とを前記第3  
切替部により接続させ、前記第2信号線と前記第1処理部とを前記第4切替部により非接  
続とし、前記第2制御において、前記第1信号線と前記第1処理部とを前記第3切替部に  
より接続させ、前記第2信号線と前記第1処理部とを前記第4切替部により非接続とする  
撮像素子。

**【請求項6】**

請求項1から5のいずれか一項に記載の撮像素子と、

前記撮像素子から出力された信号に基づいて画像データを生成する生成部と、を備える  
撮像装置。

**【手続補正2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0006

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0006】**

本発明の第1の態様による撮像素子は、第1方向に設けられ、光を光電変換して電荷を  
生成する第1光電変換部と第2光電変換部と、前記第1方向と交差する第2方向に配線さ  
れ、前記第1光電変換部で生成された電荷に基づく信号が出力される第1信号線と、前記  
第2方向に配線され、前記第2光電変換部で生成された電荷に基づく信号が出力される第  
2信号線と、前記第1信号線に出力された信号と前記第2信号線に出力された信号との少  
なくとも1方を処理する第1処理部と第2処理部と、前記第1信号線と前記第2処理部との接  
続／非接続とを切替可能な第1切替部と、前記第2信号線と前記第2処理部との接続  
／非接続とを切替可能な第2切替部と、を備える。